

1 事業名 ひきこもり、不登校を減らすための就労体験事業

2 実施期間 令和5年5月9日～令和6年2月29日

3 事業内容

① 事業の目的・概要

ひきこもり、不登校を減らすことを目的とする。

就労体験をすることで、自信がつき社会に出る一歩となる。一人一人が自信をつけるために、しゃべり場やソーシャルワーカーを入れての相談会も開く。

また、子供の頃からの体験格差もあるため、小学生のお仕事体験実施に向けた準備を行う。

② 事業の流れ等

<実施したこと>

○就労体験、アルバイト体験 実11名、延べ118名（2月末までの合計）

・就労体験：実2人（倉敷市2人、ほか0人）、延11人

・アルバイト体験：実10人（倉敷市9人、総社市1人）、延107人

○本人・保護者面談

	回数
5月	1
6月	1
7月	6
8月	4
9月	16
10月	11
11月	7
12月	8
1月	6
2月	0
合計	60

○しゃべり場の開催 7回（のべ23名参加）

- ・5/21(3人)
- ・6/18(3人)
- ・8/27(3人、ソーシャルワーカー参加)
- ・9/30(3人)
- ・10/15(2人)
- ・11/26(3人)
- ・12/10(3人、ソーシャルワーカー参加)
- ・2/18(3人、ソーシャルワーカー参加)

○小学生のお仕事体験開催の為にネットワーク作り 2回開催（のべ20名参加）

- ・8/26

参加人数：14人

市議会議員・元教師・休職中教師・NPO 団体理事・団体理事・不登校支援者・若者ボランティア他

- ・12/2

参加人数：6人

元教師・NPO 団体理事・団体理事・不登校支援者・若者ボランティア他

③ 成果・効果

面談により、個々に対応、丁寧にフォローすることで、次の参加に繋がりやすくなった。体験から、アルバイトにと段階を進めて行くこともできた。また、本人との面談から「体験はよかった」「アルバイトもしてみたい」「これから前向きに頑張れそう」「学校に行く回数が増えた。テストも受けた」「仲間と一緒にできる(体験)事で安心」「家族が喜んでいる」「お小遣いが貰えて趣味の物が買えて嬉しい」などの意見が聞けた。

また、県民局との協働事業を契機にラジオ出演をし、広く参加者が得られるよう事業を周知することができた。

就労体験のチラシを作成し、県民局を通じて管内市町や保健所・支所等のひきこも

り支援担当部門へ送付してもらい、支援対象者へ事業利用の提案をしていただくよう依頼した。チラシを必要であろう人や団体に配布し知らせる。また、伝えることができた。面談のみもあったが、周知することができた。

その結果、総社市ひきこもり支援センター(総社市社会福祉協議会)から総社市在住の支援対象者を紹介していただき、就労体験前の面談につながった。

成果目標(1)

目標・・・拠点となる倉敷市において、不登校・引きこもり傾向にある若者の参加を得て、社会参加の一助となす。

指標・・・倉敷市内からの就労体験の参加人数

評価指標・測定方法	数値目標		
	当初	今年度	実績
参加人数	延 150 人	延 200 人	実 11 人、 延 118 人

成果目標(2)

目標・・・倉敷市以外の備中圏域に取り組みを普及させる。

指標・・・倉敷市以外の備中県民局管内からの就労体験のイベント参加人数

評価指標・測定方法	数値目標		
	当初	今年度	実績
イベント参加人数	0 人	3 人	0 人

成果目標(3)

目標・・・小学生お仕事体験ワークショップの開催に向けての会議をする

指標・・・上記目的の為のネットワーク作りの会議の開催(回数)

評価指標・測定方法	数値目標		
	当初	今年度	実績
実施回数を数える	0 回	1 回	2 回

④ 今後の課題・展開等

ひきこもり傾向、不登校、にある人は、自己肯定感が低い人が多く、経験不足なため自信を無くしている。そこに関わるためには、マンパワーとエネルギーがいるため、研修も必要である。自己の経験から支援者へとになっていければ良いと思われる。

「小学生のお仕事体験ワークショップ」については、次年度開催に向けて会議を、行なった。集まったメンバーの中で、ボランティアグループが立ち上がり、今後の協働がみこめそうである。また、カフェへの就労体験参加者がボランティアスタッフとして参加しており、社会参加や活躍の場となっている。

ボランティアグループは就労体験の支援をおこなうことを計画しており、イベント参加への手伝い、また運営・企画にも参加する。

今後、自主事業で収益を獲得し、自立的に事業を実施するために、収益性のあるイベントに参加したり、カフェ運営に協力者を募り、ボランティア参加者などを巻き込み、収益を就労体験費に充てたり、支援者の人件費に充てる。

若者のしゃべり場も少しずつではあるが、居場所的な場所になりつつある。

⑤ 県民局と協働した効果及び課題

効果としては、総社市社会福祉協議会との連携を深める事ができた。チラシ配布や広報などの協力を得られた。

課題は、事務量が多く、自団体としては大きな負担となった。

4 参考事項・資料

写真（パワーポイント）

倉敷のかあさん

Mamma Cafe

マンマカフェ

事業報告

(最終版)

就労体験

(カフェ・掃除)



実施場所：分福

実施場所：うの花食堂

就労体験

(マルシェ・販売・出店準備)



実施場所：路地裏マルシェ

就労体験

(マルシェ・販売・出店準備)



実施場所：阿知スペースマルシェ

しゃべり場



○しゃべり場の開催

- 5/21(3人)
- 6/18 (3人)
- 8/27

(3人、ソーシャルワーカー参加)

- 9/30(3人)
- 10/15(2人)
- 11/26(3人)

• 12/10

(3人、ソーシャルワーカー参加)

• 2/18

(3人、ソーシャルワーカー参加)

WSネットワーク づくり



開催日

- 8/26
- 12/2

Mamma Cafe
意数のかあさん マンマカフェ

「小学生のお仕事体験のワークショップ」
を開催する為のネットワーク作り

昨今、子どもたちの体験格差が生じていると感じます。子どもの頃からの成功体験や充実感を得る事で色々な可能性を見いだす事は、大きく本人の自信にもつながり、「生きる力」になると考えられる。そこで、小学のお仕事体験のワークショップを開催するにあたってネットワーク作りや参加者集めるため第1回を開催いたします。

日時：8月26日(土)開催
13:00~
場所：倉敷商工会議所1F内
お問い合わせ
電話：090-4147-2695
代表：坂ノ上 順子

個人面談



	回数
5月	1
6月	1
7月	6
8月	4
9月	16
10月	11
11月	7
12月	8
1月	6
2月	0
合計	60

就労体験実績

(別紙：のべ参加者数 計算表)

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
就労体験	4	2	1	1	0	1	2	0	0	0	11
アルバイト体験	3	5	12	13	11	18	17	10	10	8	107
面談	1	1	6	4	16	11	7	8	6	0	60
しゃべり場	3	3	0	3	3	2	3	5	0	3	25
合計	11	11	19	21	30	32	29	23	16	11	203

就労体験・アルバイト体験・・・述118人

※2月末までの実績になります。